

茨城県

# 育成会だより

第 147 号

発行日 令和4年7月10日  
 発行 一般社団法人  
 茨城県手をつなぐ育成会  
 編集 広報委員会  
 事務局 〒310-0851 水戸市千波町1918  
 茨城県総合福祉会館内  
 ☎ 029-243-3838  
 FAX 029-243-3854  
 URL <http://www.ibaikuseikai.com/>  
 e-mail [iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp](mailto:iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp)



菌床シイタケ栽培



ジャガイモ植え



余暇活動（花見ウォーキング）



野菜直売所出荷準備

連絡先：龍ヶ崎市駒馬町26993

電話：02697-6304(3直通)

当法人は、農業を通して自らの健康と「農と生きる力」を養い、自立した生活ができることを目的に、平成30年7月に多機能型事業所 農楽里（生活介護、就労継続支援B型）を開設しました。農園は地域の温かい励ましのもと、無農薬・有機栽培にこだわって、自分たちの手で、7割方は種から野菜を栽培しています。農作業は、2〜4名のグループ単位で活動。自分で意思決定する機会を尊重し、押しつけたり無理強いはしません。草取りが苦手な人もグループに入ると、刺激されて長時間取り組めるようになってきます。こうした集団のもつ力（グループ・ダイナミックス）を頼りに、50品目を超える野菜・ハーブを栽培しています。農作業の合間に、赤く熟したトマトを手でもぎり、数回ズボンで軽くこすって、口でモグモグ：無農薬だから味わうことができる醍醐味です。

「農業ってやってみると、なんだか楽しいね。」  
 そうした声が畑のあちこちから聞こえてくる、科学的データでは解析できない、自然の癒し力がみなぎる福祉農園を目指していきます。

## とくとん有機農業

NPO法人 農・出会の里

障害福祉サービス事業所多機能型農楽里

施設長 市毛 康司



## 令和4年度定時総会開催される

一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会の定時総会が6月17日(金)10時からセキショウ・ウェルビューイング福祉会館で開かれ、令和3年度事業報告・決算報告、および令和4年度事業計画案・予算案が事務局より説明され、それぞれ承認可決されました。これにより新年度事業計画がスタートしました。

矢野会長は、冒頭のあいさつでこれまでの取り組みについて話をされ今後の育成会のさらなる発展を願い、新会長には新しい育成会を作っていってほしいと述べました。

また、来賓として、茨城県福祉部 障害福祉課 副参事渡邊輝夫様、茨城県教育庁学校教育部 特別支援教育課 総括課長補佐 日幡久之様を迎え、ご挨拶をいただきました。

今年度は、理事改選の年にあたり理事候補者全員が承認されました。その後、新理事互選により新会長は永井立雄氏が選出されました。

※総会后令和4年度一般会計予算書をホームページに掲載しています。



令和4年度の新役員

## お世話になりました。

令和4年度の定時総会をもって、県育成会長を退任いたしました。会長在任中は、単位育成会長並びに会員の皆様、関係機関の方々のご支援とご協力により、大過なく務めることが出来ましたことを心よりお礼申し上げます。

振り返りますと、私が平成28年に会長に推薦された時は、私には力量も人脈も無く、ただ精一杯任に当たる覚悟で務めてまいりましたが、特に会の認知度向上と組織強化のため皆様のご理解を得て、平成29年に一般社団法人格を取得したことは思い出深いことでした。一方、6年間の在任期間のうち後半は、新型コロナの影響で会の活動も中止や見直しを余儀なくされ、単位育成会の会員の方との交流活動なども出来なかったことは心残りです。

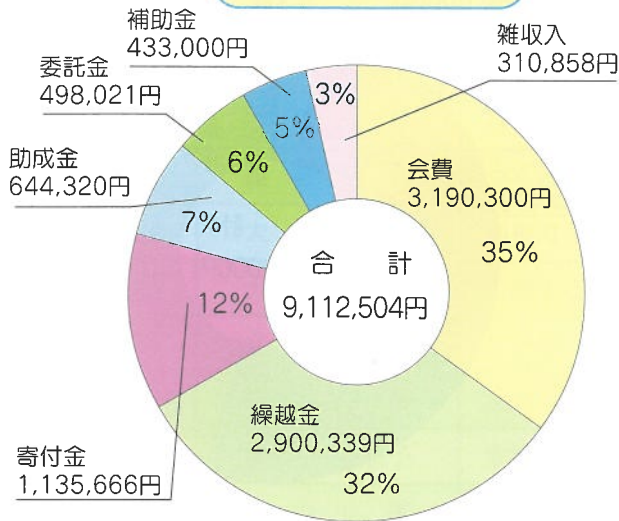
私自身としては、県育成会長の重責を果たしたと自負しておりますが、今後も引き続き会員として、県育成会の発展と障害福祉の向上のために努めたいと思いますので、宜しく願い申し上げます。



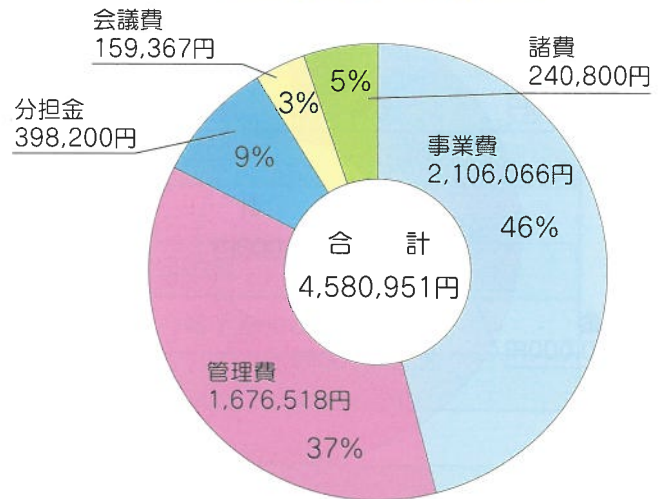
前会長 矢野清

# 令和3年度決算報告概要

一般会計収入の部



一般会計支出の部



【一般会計収入の部】

単位：円

| 項目・収入額                  | 主な内容              |                  |
|-------------------------|-------------------|------------------|
| <b>会費</b><br>3,190,300  | 地域育成会             | 3,014,500        |
|                         | 社会福祉協会            | 10,000           |
|                         | 特別支援教育研究部         | 130,800          |
|                         | 知的障害特別支援学校        | 19,000           |
|                         | 賛助会員              | 16,000           |
| <b>補助金</b><br>433,000   | 心身障害児(者)福祉団体補助金   | 360,000          |
|                         | 福祉団体支援事業補助金       | 73,000           |
| <b>委託金</b><br>498,021   | ボランティア活動参加促進事業    | 148,021          |
|                         | 相談員活動強化事業         | 350,000          |
| <b>助成金</b><br>644,320   | 共同募金配分金           | 310,000          |
|                         | 地方活動助成金           | 184,320          |
|                         | いばらき障害者生活サポート協会   | 150,000          |
| <b>寄付金</b><br>1,135,666 | 茨城県 PTA 連絡協議会     | 60,000           |
|                         | 茨城県遊技業協同組合        | 50,000           |
|                         | 茨城新聞文化福祉事業団歳末愛の募金 | 150,000          |
|                         | 匿名                | 1,000            |
|                         | 心のとも運動            | 874,666          |
| <b>雑収入</b><br>310,858   | 銀行利息              | 58               |
|                         | R 3 年度 8 月大雨義援金   | 210,800          |
|                         | 育成会だより広告掲載料 (JIC) | 100,000          |
| <b>繰越金</b>              |                   | 2,900,339        |
| <b>計</b>                |                   | <b>9,112,504</b> |

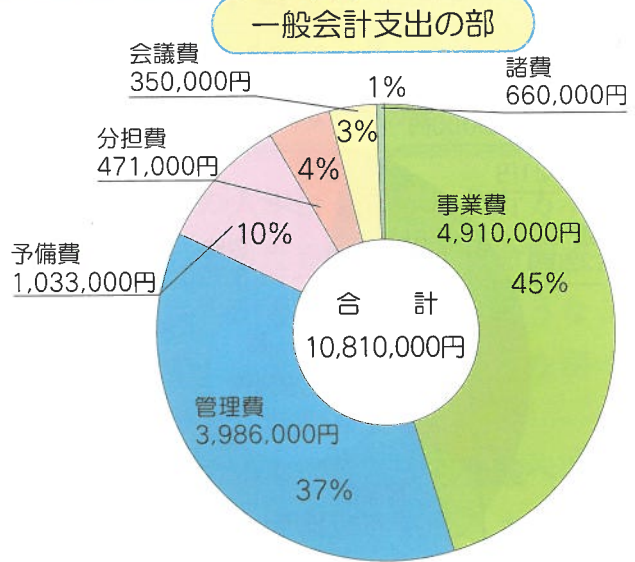
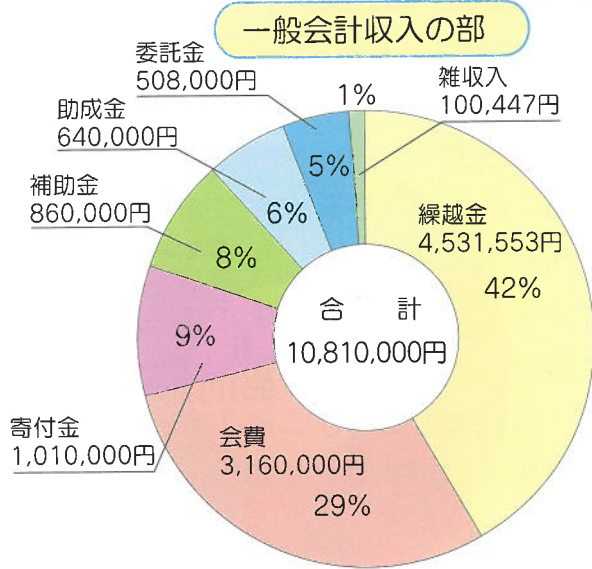
【一般会計支出の部】

単位：円

| 項目・支出額                  | 主な内容        |                  |
|-------------------------|-------------|------------------|
| <b>会議費</b><br>159,367   | 理事会         | 159,367          |
|                         |             |                  |
| <b>事業費</b><br>2,106,066 | 研修費         | 44,804           |
|                         | 大会費         | 0                |
|                         | 専門委員会費      | 474,311          |
|                         | 手をつなぐ子らの作品展 | 240,000          |
|                         | 組織強化費       | 287,174          |
|                         | 啓発推進        | 588,303          |
|                         | 代表者派遣費      | 8,120            |
|                         | 団体助成費       | 113,354          |
| 相談研修事業費                 | 350,000     |                  |
| <b>管理費</b><br>1,676,518 | 旅費          | 0                |
|                         | 需用費         | 453,415          |
|                         | 役務費         | 176,840          |
|                         | 人件費         | 852,319          |
| 借用損料                    | 193,944     |                  |
| <b>分担金</b><br>398,200   | 分担金         | 398,200          |
|                         |             |                  |
| <b>諸費</b><br>240,800    |             | 240,800          |
| <b>予備費</b>              |             | 0                |
| <b>計</b>                |             | <b>4,580,951</b> |



# 令和4年度予算概要



期間 自：令和4年4月1日  
至：令和5年3月31日

【一般会計収入の部】

単位：円

| 項目・収入額           | 主な内容              | 金額                |
|------------------|-------------------|-------------------|
| 会費<br>3,160,000  | 地域育成会             | 3,000,000         |
|                  | 社会福祉協会            | 10,000            |
|                  | 特別支援教育研究部         | 131,000           |
|                  | 知的障害特別支援学校        | 19,000            |
| 補助金<br>860,000   | 県福祉団体補助金          | 360,000           |
|                  | 県福祉団体等支援事業補助金     | 500,000           |
| 委託金<br>508,000   | ボランティア活動参加促進事業    | 158,000           |
|                  | 相談員活動強化事業         | 350,000           |
| 助成金<br>640,000   | 共同募金配分金           | 310,000           |
|                  | 地方活動助成金           | 180,000           |
|                  | いばらき障害者生活サポート協会   | 150,000           |
| 寄付金<br>1,010,000 | 茨城県PTA連絡協議会       | 60,000            |
|                  | 茨城県遊技業協同組合        | 50,000            |
|                  | 茨城新聞文化福祉事業団歳末愛の募金 | 100,000           |
|                  | 心のとも運動            | 800,000           |
| 雑収入<br>100,447   | 銀行利息              | 447               |
|                  | 広告掲載料             | 100,000           |
| 繰越金              |                   | 4,531,553         |
| <b>計</b>         |                   | <b>10,810,000</b> |

【一般会計支出の部】

単位：円

| 項目・支出額           | 主な内容        | 金額                |
|------------------|-------------|-------------------|
| 会議費<br>350,000   | 理事会         | 290,000           |
|                  | 総会等         | 60,000            |
| 事業費<br>4,910,000 | 研修費         | 400,000           |
|                  | 大会費         | 700,000           |
|                  | 専門委員会費      | 1,280,000         |
|                  | 手をつなぐ子らの作品展 | 240,000           |
|                  | 組織強化費       | 480,000           |
|                  | 啓発推進        | 1,000,000         |
|                  | 代表者派遣費      | 300,000           |
| 管理費<br>3,986,000 | 団体助成費       | 160,000           |
|                  | 相談員研修事業費    | 350,000           |
|                  | 旅費          | 50,000            |
|                  | 需用費         | 500,000           |
| 分担金<br>471,000   | 役務費         | 250,000           |
|                  | 人件費         | 2,966,000         |
| 繰出金<br>0         | 借用損料        | 220,000           |
|                  | 分担金         | 471,000           |
| 諸費<br>60,000     |             | 60,000            |
| 予備費<br>1,033,000 |             | 1,033,000         |
| <b>計</b>         |             | <b>10,810,000</b> |

# 一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会役員名簿

2年間よろしくお願いします。

(令和4年6月17日現在)

| 役職            | 氏名     | 所属                     |
|---------------|--------|------------------------|
| 会長            | 永井立雄   | 日立市手をつなぐ親の会            |
| 副会長           | 嶋田みち子  | 石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会       |
| 副会長           | 中村正子   | ひたちなか市障害児者育成会          |
| 副会長           | 飯村晴代   | つくばみらい市手をつなぐ育成会        |
| 副会長           | 大坪浩    | 利根町手をつなぐ育成会            |
| 副会長           | 大高滋    | 古河市中心身障害児(者)父母の会       |
| 副会長           | 立川益信   | NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会 |
| 理事            | 鈴木胖    | 北茨城市手をつなぐ育成会           |
| 理事            | 露久保真依子 | 常陸大宮市手をつなぐ育成会          |
| 理事            | 杉山正美   | 小美玉市中心身障がい児者父母の会       |
| 理事            | 西口規子   | 笠間市手をつなぐ育成会            |
| 理事            | 大久保淑子  | 東海村心身障がい児者親の会          |
| 理事            | 田口美博   | 水戸手をつなぐ育成会             |
| 理事            | 徳永一成   | 稲敷市手をつなぐ育成会            |
| 理事            | 根目沢浩幸  | かすみがうら市手をつなぐ育成会        |
| 理事            | 井上圭一   | 土浦市手をつなぐ育成会            |
| 理事            | 後藤真紀   | つくば市手をつなぐ育成会           |
| 理事            | 吉川佳代子  | 潮来市障がい者児親の会            |
| 理事            | 花田三男   | 神栖啓愛園保護者会              |
| 理事            | 大島みのる  | 桜川市手をつなぐ育成会            |
| 理事            | 菅谷久美子  | 結城市心身障害児(者)父母の会        |
| 理事            | 清水学    | 本人活動委員会                |
| 理事            | 大竹正美   | 本人活動委員会                |
| 理事            | 笹本健一   | 一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会     |
| 理事            | 米川豊    | 茨城県教育研究会特別支援教育研究部      |
| 理事            | 武井和志   | 茨城県特別支援学校知的障害教育校長会     |
| 監事            | 川内幸子   | 水戸手をつなぐ育成会             |
| 監事            | 富田和子   | 水戸手をつなぐ育成会             |
| 常務理事<br>兼事務局長 | 村田裕二   | 一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会      |
| 顧問            | 矢野清    | NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会 |



# 一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会名簿

令和4年6月17日現在

| No. | ブロック | 会名                      | 会長名    |
|-----|------|-------------------------|--------|
| 1   | 県北   | 日立市手をつなぐ親の会             | 永井立雄   |
| 2   |      | 高萩市手をつなぐ育成会             | 豊田守    |
| 3   |      | 北茨城市手をつなぐ育成会            | 鈴木胖    |
| 4   |      | 大子町心身障害児者父母の会           | 菊池和保   |
| 5   |      | 常陸大宮市手をつなぐ育成会           | 露久保真依子 |
| 6   | 県央   | 水戸市手をつなぐ親の会連絡協議会        | 竹川直秀   |
| 7   |      | 水戸手をつなぐ育成会              | 田口美博   |
| 8   |      | ひたちなか市障害児者育成会           | 深谷悦男   |
| 9   |      | 笠間市手をつなぐ育成会             | 石川美佐穂  |
| 10  |      | 那珂市障がい児者親の会             | 若谷則彦   |
| 11  |      | 小美玉市心身障がい児者父母の会         | 杉山正美   |
| 12  |      | 東海村心身障がい児者親の会           | 坂下由子   |
| 13  |      | 育心園保護者会                 | 森泉里香   |
| 14  |      | 若葉園父母の会                 | 熊谷正    |
| 15  |      | NPO 法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会 | 立川益信   |
| 16  | 鹿行   | 潮来市障がい者児親の会             | 吉川佳代子  |
| 17  |      | NPO 法人あすなろ会             | 高橋等    |
| 18  |      | 神栖啓愛園保護者会               | 花田三男   |
| 19  | 県南   | 土浦市手をつなぐ育成会             | 井上圭一   |
| 20  |      | 石岡市手をつなぐ親の会             | 長谷川直樹  |
| 21  |      | 石岡市中心身障害児者父母の会          | 岩橋ふみ   |
| 22  |      | 石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会        | 嶋田みち子  |
| 23  |      | 取手青年学級 YMO              | 大久保朋子  |
| 24  |      | 牛久市手をつなぐ育成会             | 古舘佳巳   |
| 25  |      | 莖崎手をつなぐ育成会              | 橋本佳子   |
| 26  |      | 稲敷市手をつなぐ育成会             | 徳永一成   |
| 27  |      | かすみがうら市手をつなぐ育成会         | 根目沢浩幸  |
| 28  |      | つくばみらい市手をつなぐ育成会         | 飯村晴代   |
| 29  |      | 河内町手をつなぐ育成会             | 金子由夫   |
| 30  |      | 利根町手をつなぐ育成会             | 大坪浩    |
| 31  |      | つくば市手をつなぐ育成会            | 後藤真紀   |
| 32  | 県西   | 古河市心身障害児（者）父母の会         | 大高滋    |
| 33  |      | 結城市手をつなぐ育成会             | 沼尾和美   |
| 34  |      | 結城市心身障害児（者）父母の会         | 菅谷久美子  |
| 35  |      | 坂東市心身障害児者父母の会           | 栗原芳男   |
| 36  |      | 下妻市心身障害児者父母の会           | 川面圭司   |
| 37  |      | 境町心身障害児者父母の会            | 福田勝房   |
| 38  |      | 桜川市手をつなぐ育成会             | 大島みのる  |
| 39  |      | (一社) 茨城県心身障害者福祉協会       | 笹本健一   |
| 40  |      | 茨城県特別支援学校知的障害教育校長会      | 東ヶ崎明美  |
| 41  |      | 茨城県教育研究会特別支援教育研究部       | 米川豊    |

# よろしくお願ひします

新会長 永井 立雄

このたび矢野会長（前会長）より育成会のバトンを引き継ぐことになりました。どうぞよろしくお願ひします。歴代の会長をはじめ多くの役員そして会員の皆さまが受け継ぎ、守り、育ててきた育成会の活動に携わることが出来ますことは大変光栄なことと感じております。今後、役員の方々とともに伝統あるこの県育成会の精神を絶やすことなく知的障害者の福祉の向上のために、微力ではございますが頑張っていりますのでどうかご支援、ご協力をお願いいたします。



新永井会長と前矢野会長

さて、過日、育成会が実施した会員の状況アンケートによりますと、各単位育成会での会員の構成は着実に高齢化してきているようです。これは同時に会員の子どもである障害のある本人たちの年齢も高くなってきていることを示しています。国の施策や自治体の福祉制度の充実により、地域・家庭で暮らす障害者は着実に増えてきてはいますが、たとえば高齢の親と同居している障害者にとっては、今後親と離れて居住する場所を確保することが喫緊の課題となります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で我が国の経済が大きく後退し、毎日元気に働いていた障害者にとっても事業所の閉鎖、解雇など厳しい状況が続いています。その他にも特別支援学校の教室の不足、特別支援学級を担当する人材の不足など、障害のある子どもたちの周りでも課題が山積しています。

一方、産科医療の現場では生まれる前の胎児の染色体を検査し、障害のあるなしを判定する出生前診断が一般化しつつあり、障害のある胎児の生きる権利を考えるうえでも深刻な状況が出現しています。

知的障害者の場合、意思の疎通や状況に応じた判断が苦手で、自ら困っていることを訴えるためには周りの支援が必要です。そしてその最大の支援者が、親であり、家族である私たち手をつなぐ育成会です。今こそ私たちが力を合わせて知的障害者が安心して生活できる社会の実現を目指していきましょう。



# ながいの見え方

第8回



## 親、家族が声をあげましょう

日立市手をつなぐ親の会 永井 立雄

この春、北海道の知床半島で観光船が沈没し多くの人が無くなったり行方不明になったりしました。寒い知床の海に投げ出されてしまったら、たとえ救命胴衣を着けていても命を守ることはできないということは素人が考えてもわかりそうなことですが国の安全基準からは抜け落ちていたようです。一見頼りになりそうな国の制度にもあちらこちらに穴が開いているということがよくわかります。

ところで、我が国では障害者権利条約が批准されて以来「施設から地域へ」の流れが加速し、知的障害者のためのグループホームが次々と開設されてきました。これと並行して、それまで全国に存在していた大規模な施設は順次解体され国の政策の中心も「地域で暮らす」ということに重点がおかれることになりました。面会もままならない遠い山の中の施設に子どもを預けるのではなく毎日生活している街中のグループホームのお世話になることができるとても安心なことです。

しかしながら、現在このようなグループホームの利用者の多くは中度や軽度の障害者です。日中も夜間も見守りや支援の必要な比較的障害の重い人たちは自宅で家族と生活しているというのが一般的ではないでしょうか。そしてこのようなケースで最も課題となっているのが、他でもない「親なき後」の問題なのです。

現在の国の制度では障害の重い人たちを受け入れるためのグループホームの設置は、人材の確保においても経営上の収支においても非常に難しいと言われていています。しかし時間を止めることはできません。現在多くの親や家族たちが担っている支援（食事、入浴、排せつ、移動など）は親の高齢化とともに次第に難しくなってきました。あと数年もすれば、障害者の支援ができなくなる家庭が増加することは明らかです。事実わたしたちの育成会でも高齢化が進み「親なき後」を心配する会員が多くなってきています。

さて、冒頭で国の制度は穴だらけと述べましたが、国や自治体にまかせていては安心できないのが現実です。特に自ら声を上げることの難しい知的障害者の将来については私たち手をつなぐ育成会のような団体がしっかり取り組んで社会に発信していくことがとても大切なのだと思います。





# 特別支援学校の今

茨城県内の特別支援学校を順次紹介していきます

## 県立北茨城特別支援学校（北茨城市）

### 「心ひとつに本気のチャレンジ」

令和4年度の本校の在籍児童生徒は119名（小学部50名、中学部26名、高等部43名）です。校舎から広大な太平洋を一望でき、JR 南中郷駅まで徒歩9分の恵まれた環境下にある本校について紹介します。

#### 【継続している活動】

##### ①「あいさつ」の定着

小学部全学年で年間複数回「あいさつ検定」に取り組んでいます。これは、児童の実態に応じた4種類の検定カード（挨拶が得意な児童向き、話すことが苦手な児童向き等）をもとに「あいさつ」に取り組み、できた項目数に応じて等級を決めて表彰する活動です。事前学習では、中学・高等部生徒が手本を見せるなど、「あいさつ」の定着を全校で行っています。



##### ②地震後の津波を想定した校外避難

海のすぐ側にある本校は、地震後の津波を想定した校外避難の訓練を毎年改善しながら行っています。1学期に各部等で一時避難場所「輪台」（海拔45m、学校から約1.6km）まで歩き、2学期は全校で「輪台」まで避難する訓練を行い、「命」を守る防災教育を継続しています。



#### 【新たな活動】

##### ①タブレット端末等のICT機器の活用

生徒がタブレット端末を使ってオリジナル問題集を作成したり、動画の中にテロップや効果を組み入れたりするなど、日常的にタブレット端末を活用した授業を行っています。また、オンラインで学校間交流を行うなど、コロナ禍におけるICT機器活用の可能性が広がっています。



##### ②高等学校への支援

特別な教育的支援を必要とする生徒の多くが高等学校に進学する現状から、「県北地区特別支援教育コーディネーター研修会」を、本校主催で3回開催しました。本研修会をきっかけに、高等学校から本校への巡回相談等の依頼が増えています。



## 令和4年7月からの行事予定

| 月   | 日(曜日)         | 行事予定                                    |
|-----|---------------|---|
| 7月  | 20日(水)        | 第2回理事会 10:00～                           |
| 8月  | 21日(日)        | 本人活動委員会 10:00～                          |
| 9月  | 9日(金)         | 第3回総務委員会 10:00～                         |
|     | 16日(金)        | 研修委員会 10:00～                            |
|     | 17日(土)        | 茨城県障害者スポーツ大会(レクリエーション競技)(水戸信用金庫スタジアム)   |
|     | 29日(木)        | 研修委員会 10:00～                            |
| 10月 | 5日(水)         | 広報委員会 10:00～                            |
|     | 7日(金)         | 研修委員会 研修会                               |
|     | 12日(水)        | 第3回理事会 10:00～                           |
|     | 中旬            | 第60回手をつなぐ育成会茨城大会                        |
|     | 22日(土)        | 第56回関東ブロック連絡協議会長野大会 12:30～(長野市・ホクト文化会館) |
|     | 29日(土)～31日(月) | 第22回全国障害者スポーツ大会(栃木県)                    |

| 月   | 日(曜日)       | 行事予定   |
|-----|-------------|--|
| 11月 | 9日(水)       | 研修委員会・委員研修会<br>広報委員会 10:00～                          |
|     | 18日(金)      | 第4回理事会 10:00～  |
|     | 20日(日)      | 全育連・第7回全国大会福井大会(オンライン配信)                             |
|     | 24日(木)      | 広報委員会 10:00～   |
|     | 28日(月)      | 地域交流委員会 10:00～                                       |
|     | 30日(水)      | 広報委員会 10:00～   |
| 12月 | 1日(木)       | 研修委員会 10:00～   |
|     | 1日(木)～5日(月) | ナイスハートふれあいフェスティバル2022(ザ・ヒロサワ・シティ会館)<br>ナイスハート美術展(同上) |
|     | 7日(水)       | 広報委員会 10:00～   |
|     | 10日(土)      | 「育成会だより」148号発行                                       |

## よろしくお願ひします、新事務局職員の松本圭子です。

6月から茨城県手をつなぐ育成会事務局で働くことになりました。  
今までは一般企業で事務をとり、その一方で働く人の心理相談に興味を持ち、カウンセラーの勉強をしておりました。  
勉強をしていく中で障がいを持った方への地域支援の重要性に気づき、障がい者がより生きやすい社会になるお手伝いをしていきたいと思うようになり、出身地の北茨城市では知的・精神障がい者のボランティア活動にも参加させていただきました。  
これから皆さんがより活動しやすいよう一生懸命お手伝いをしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 新任相談員のごあいさつ

鳥羽田 信

今年の4月から「障害者なんでも相談室」の相談員をすることになりました鳥羽田(とりはた)です。これまでは特別支援学校に勤務し、子供たちの成長を見守ってきました。学校に通う児童生徒やその家族からの相談等に関わることはありましたが、成人の方からの様々な相談に対応することができるか少し心配しています。先輩の相談員の方々からのご指導を受けながら、相談される皆さんの力になれるように励んでいきたいと思ひます。  
学校を退職してから数年経ちますが、体力を維持するためにも「歩く」ことを心がけ、自宅周辺や千波湖、そして山歩きを楽しんでいます。最近では人の少ない低山専門ですが、茨城や近県にも多くの山があり季節の花や温泉、山友との会話などを加えると楽しみが何倍にもなってきます。この147号が発行される7月はニコウキスゲの時季、ここ数年計画しても天候が悪く残念な思いをしてきました。今年は青空の下で見られることを願っています。



## 編集後記

令和4年(2022)も新型コロナが収束することはありませんが、GW後は感染者数も減少傾向となり、全国的に規模縮小しながらも催し物の便りが届いております。弘前市の桜まつり、浅草三社祭、飛騨高山山車曳まつり、京都葵祭などは全国的に知られているお祭りです。水郷潮来のあやめ祭りも盛況でした。平和だからこそ催し物ができていると思ひます。ただ、最近では品物不足による物価上昇が家計を直撃し、さらに嫌なことですが、日本各地で地震も起きています。一番の願ひは四季折々の平穏な日々です。

徳永 一成